

2009年度
関西学院大学ロースクール

一般入試（法学既修者）

民法問題

開始の指示があるまで内容を見てはいけません

【民法問題】

AはBに3000万円の売掛債権を有していたが、支払日が経過しているにもかかわらずBは弁済しない。そこで、AがBの唯一の資産である甲土地（時価4000万円）に強制執行をしようと思っていたところ、気配を察したBは友人のCと相談し、甲をBC間で4000万円で売却したことにし、甲の登記名義をCに移転した。Bは、このような方法を取ったことによりAの強制執行をひとまず免れうると安心してしたが、CがBの信頼を裏切り、甲をBC間の虚偽表示については善意であるが有過失であるDに売却するとともに、登記名義もDに移転した。また、DはBC間の売買がBの債権者Aを害することについては悪意であった。

以上の事実を前提に、下記の問いに答えなさい。

【設問1】

- (1) AはBC間の虚偽表示を理由にCD間の売買契約の無効を主張しうるか。
- (2) 上記の問題は、Dが登記を具備していない場合にも同じ結論となるか。

【設問2】

- (1) CがDに甲土地をまだ売却していない段階において、AはBC間の売買契約を詐害行為として取り消しうるか。
- (2) CがDに甲土地を売却した後の段階において、AはCD間の売買契約を詐害行為として取り消しうるか。

【設問3】

Aが詐害行為を理由にCD間の売買契約を取り消しうる場合、AはDに登記名義を直接自己に移転するように求めうるか。